

第 53 回全日本サーフィン選手権大会(2018)

開催要項（概要）

一般社団法人 日本サーフィン連盟

NIPPON SURFING ASSOCIATION

【大会概要】

(大会名称)

第 53 回全日本サーフィン選手権大会(2018)

(主 催)

一般社団法人 日本サーフィン連盟 (N S A)

(公 認)

国際サーフィン連盟 (I S A)

(後 援 予 定)

スポーツ庁、海上保安庁、三重県、三重県教育委員会、志摩市、志摩市教育委員会、志摩市観光協会、一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会

(協 力)

日本サーフィン連盟 三重支部

(大会告知方法)

当連盟会員誌、当連盟オフィシャルサイト、サーフィン雑誌媒体、サーフィン WEB 媒体

(協 賛)

一般社団法人日本サーフィン連盟オフィシャルスポンサー各社

(開 催 地)

三重県 志摩市 国府の浜海岸

(開催日時)

2018年8月20日(月)～8月25日(土) 予備日26日(日)

※トライアルは8月19日(日)、開会式は8月20日(月)

(競技方法)

全国70支部で開催される支部予選大会で選抜された代表選手が参加する選手権大会。

(支部予選出場者数 約11,000名)

競技は日本サーフィン連盟競技規則、本大会特別規則に基づき実施され、審査は日本サーフィン連盟公認ジャッジによって行われる。

(競技種目)

キッズ	平成 18 年(2006 年)1 月 1 日以降生まれの男子
ボーイズ	平成 14 年(2002 年)1 月 1 日～平成 16 年(2004 年) 12 月 31 日の男子
ジュニア	平成 12 年(2000 年)1 月 1 日～平成 12 年(2000 年) 12 月 31 日の男子
メン	昭和 59 年(1984 年)1 月 1 日～平成 10 年(1998 年) 12 月 31 日の男子
シニア	昭和 49 年(1974 年)1 月 1 日～昭和 57 年(1982 年) 12 月 31 日の男子
マスター	昭和 42 年(1967 年)1 月 1 日～昭和 47 年(1972 年) 12 月 31 日の男子
グランドマスター	昭和 35 年(1960 年)1 月 1 日～昭和 40 年(1965 年) 12 月 31 日の男子
カフナ	昭和 34 年(1959 年)12 月 31 日以前生まれの男子
ガールズ	平成 12 年(2000 年)1 月 1 日以降生まれの女子
ウィメン	昭和 59 年(1984 年)1 月 1 日～平成 10 年(1998 年) 12 月 31 日の女子
シニアウィメン	昭和 58 年(1983 年)12 月 31 日以前生まれの女子
ロングボードメン	昭和 49 年(1974 年)1 月 1 日以降生まれの男子
ロングボードマスター	昭和 48 年(1973 年)12 月 31 日以前生まれの男子
ロングボードウィメン	正会員の女子
ボディボードメン	正会員の男子
ボディボードウィメン	正会員の女子
ロイヤル	招待者のみ
支部長クラス	
支部対抗パドルリレー	

(出場選手及関係役員数)

選手・・・900 人 トライアル・・・120 人 役員・・・60 人

(開催目的)

一般社団法人日本サーフィン連盟は、1965 年に「サーフィンに関し、アマチュア精神に則り、その正しい発展をはかり、サーフィンを通じて、海への関心を高め、健康な身体の育成、あわせて国内及び国外のサーファーとの親睦を目的とする。」という骨子の下に設立され、スポーツとしてのサーフィンの確立を活動方針として、今日に至るまで活動を続けてまいりました。

全日本サーフィン選手権大会は日本で最も伝統と権威あるサーフィン大会として、過去 50 年以上にわたり全国各地で開催してまいりました。本大会は、当連盟正会員約 11,000 人が参加する各地域の支部予選大会で選抜された選手が出場し、アマチュアサーファーの全日本チャンピオンを決する大会として位置付けられております。

また、日本で開催される主要なサーフィン大会のなかでも最も注目される大会であり、全国の選手の親睦、サーフィンの社会的な地位向上、国際大会の日本代表候補選手の選抜等を開催の目的としております。

大会を通じてサーフィンの正しいルールの励行、マナーの向上により事故防止等の啓発を図ります。

なお、平成 30 年の今大会は、サーフィン競技を広く一般の人々にも知ってもらい、大会を楽しめるような、地域づくりの側面にも配慮した企画も検討しております。

以上